

No. 335

全 仏

1/63

賀詞広告／第33回全日本仏教徒(岐阜)大会



朝日を浴びるルンビニー園

Lumbini Garden under the Morning Sun

ルンビニー園の周辺は一面濃い乳白色の霧が立ちこめていたが、太陽が昇るにしたがって少しずつ晴れてきた。画面中央下に光っている池

が、マヤー夫人が釈尊を出産した際沐浴したとされる「沐浴池」。白鳥が4羽泳いでいる。その左の巨大な菩提樹の下にある建物がマヤー夫人堂、その背後にある仏塔や左方のラマ寺院などは、その後各国の仏教団体が寄進した建造物である。西から東に向かって撮影している。

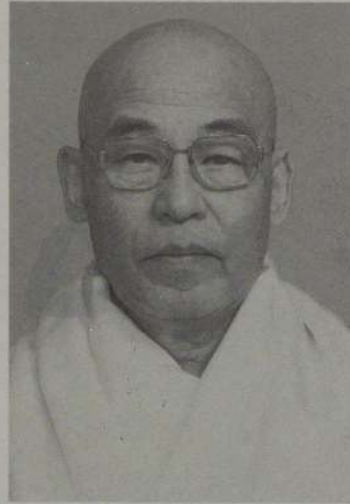
〔写真と解説は白川義員作品集『仏教伝来』第一巻より〕

全日本仏教会

昭和63年1月1日

昭和六十三年の 年頭にあたって

全日本仏教会会長 阿部野 竜正



阿部野竜正会長

このことは、長年に亘り全一仏教運動の旗幟のもとに加盟団体の皆々様が創り出してこられた人と人との和の力の賜であり、誠に有難たいことでもあります。と同時に、本会に寄せられた期待の大きさを思い、襟を正さずにはおれないのであります。

戊辰の新春
あけまして おめでと
う
ございます

昨年、本会財団創立三十周年を迎え、数々の記念事業が立派に挙行されましたことは記憶に新たであります。特に十月

七日大本山増上寺に於て厳修されました式典と引き続き東京プリンスホテルに於て開催されました祝宴は、本会関係者をはじめ、広く宗教界・官界・政界の代表者の各位の御協賛を辱うし、驚くばかりの盛会となりました。

歴史を見れば明らかかなように、社会が繁栄すればするほど、それに比例して孤独や絶望も深いのであります。今こそ私たちは、ものごとを良く見て、安逸を貧ることなく大いに信火を燃やして、世のため人のために精一杯の努力を傾注しなければなりません。

財団創立三十年を契機にして、本年は仏教界が臥竜から蛟竜となつて天空に向つて高く飛び立つことを祈念し、新春を壽ぎ、御挨拶といたします。

合掌



財団法人 全日本仏教会

会長 阿部野竜正 (高野山真言宗管長)
副会長 小峰 順誉 (真言宗智山派)

理事 洪谷 有教 (真宗仏光寺派門主)
足立 大進 (臨済宗円覚寺派管長)
麻生 文雄 (真言宗醍醐派管長)
北河原公典 (華嚴宗)
大橋 覚阿 (徳島県仏教会名誉会長)
山本 道隆 (埼玉県佛教会会長)
山本 杉 (全日本仏教婦人連盟理事長)
若槻 修道 (曹洞宗)

常務理事

朝日 泰峯 (曹洞宗)
蔵山 光堂 同
渡辺 静波 (浄土真宗本願寺派)
有馬 清雄 同
古賀 制二 (真宗大谷派)

理事

安藤 正晃 (孝道教団)
森田 禪朗 (和宗)
塩入 亮達 (聖観音宗)
長谷川靈信 (念法真教)
板垣 隆寛 (山形県仏教会)

仏教会発展さらなる精進の決意

全日本仏教会理事長 若槻 修道



若槻修道理事長

第です。私共は、この佳節を契機に、さらに精進に努め、仏教界の発展に寄与できればと、決意を新たにしております。

現在、我国は世界有数の経済大国に成長し、人は未曾有の豊かな生活を楽しんでいます。しかし反面、高齢化社会の進行が大きな影をおとし、諸々の面で価値観が大きく転換しつつあるのではないのでしょうか。

このような中で、私共が果たすべき役割は、はなはだ大きいと確信いたす所存であります。

謹んで新年を慶賀申し上げます。皆様方のかわらぬ御清栄を、心よりお喜び申し上げます。

昨年、全日本仏教会が財団として発足して、三十年という記念すべき年に当たりました。種々の記念事業が企画され、特に十月七日の記念式典には、各界からの御来賓をはじめとして、八百五十人という多数の方に御出席いただき、さらに各方面から丁寧なる御祝辞を賜うることができました。

これは偏に、皆様方の本会に対する御厚情の賜と、衷心より御礼申し上げます。本年は、九月に第三十三回の全日本仏教徒会議が岐阜市で、また十一月にはアメリカのロスアンゼルス市で第十六回の世界仏教徒会議(WFB大会)が予定されております。昨年同様、加盟団体の皆様方には、絶大なる御鞭撻、御協賛をお願い申し上げます。年頭の御挨拶といたしま

合掌

- 平出 昭寛 同
- 澁谷 直城(日蓮宗)
- 近藤 説巖(高野山真言宗)
- 竹中 玄鼎(臨濟宗妙心寺派)
- 江田 廣典(天台宗)
- 高野 一能(真言宗智山派)
- 吉田 俊誉(真言宗豊山派)
- 岩崎 宗秀(東京都仏教連合会)

- 土持 良栄(千葉県仏教会)
- 江連 俊則(埼玉県佛教会)
- 福永 隆昭(神奈川県仏教会)
- 北山 宏明(静岡県仏教会)
- 宇佐美諦練(愛知県仏教会)
- 橋 感月(岐阜県仏教会)
- 鈴木 龍珠(大阪府仏教会)
- 林 恵智子(全日本仏教婦人連盟)

監事

- 横山 尚空(臨濟宗妙心寺派)
- 市原 孝寿(天台宗)
- 白川 謙敬(東京都仏教連合会)

事務総局

- 東京都港区芝公園四一七―四
- 〒150 〇三(四三七)九二七五
- 事務総長 野口 善雄
- 総務部長 川島 宏之
- 財務部長 石川 浩徳
- 同和推進部長 大山 義信
- 社会部長 斎藤 明聖
- 国際文化部長 杜多 茂夫
- 総務部次長 野生司祐宏
- 財務部次長 瀬戸 隆海

関西事務局

- 同和推進部次長 神代 紹文
- 社会部次長 上田 則夫
- 国際文化部次長 小峰 立丸
- 主事 菅野 孝江
- 主事 水野 和子
- 京都市下京区堀川通
- 浄土真宗本願寺派宗務所内
- 〒600 〇七五(三七一)〇八七七
- 事務総長 井上博厚
- 他 職員一同

全仏常務理事会

予算、人事などを承認

十二月一日午後一時から、東京グランドホテルを会場に、全仏の常務理事会が

開催された。

議長に若槻修道理事長、議事録署名委員に平出昭寛、岩崎宗秀の両師を選ん

で議事に入った。

議案第一号「昭和六十三年度予算案の大綱について承認を求める件」

若槻理事長より上程。石川財務部長が説明の後、九七四八三〇〇〇円にのぼる明年度予算案の大綱が承認された。

議案第二号「昭和六十三年度役員等の人事について承認を求める件」

若槻理事長より上程。川島総務部長が説明、質疑応答の後、原案通り承認された。

東京グランドホテルで開かれた全仏常務理事会



自民党と懇談会

税制改正

5団体の代表者出席



自民党本部で開かれた懇談会

昭和六十三年度の税制改正を前にして、昨年十二月七日午前十一時より、自由民主党本部に於いて、日本宗教連盟と自由民主党文教部会役員との懇談会が開催された。

自由民主党側からは、文教部会長の工藤謙、同副部長で宗教学者藤田幹生の両氏が出席した。これに対して日本宗教連盟からは協賛五団体の代表者三十五名が出席した。

報告事項

① 昭和六十三年税制改正の動向について
② 第三十三回全日本仏教徒会議岐阜大会について

③ 第十六回世界仏教徒会議ロシアアンゼル大会について
④ 信教の自由に関する委員会報告
各担当部長より報告された。

工藤、奥田の両氏の挨拶ののち、日本宗教連盟理事長・教派神道連合会理事長広瀬静水氏が、昭和六十三年度税制改正にあたり、日宗連としての意見の表明を行った。即ち①金融資産収益に係る非課税措置の維持、②収益事業に係る軽減税率の維持及び範囲の再検討の二点に就いて懇切かつ詳細に説明して強く宗教界の立場の主張をした。

次いで本会を代表して臨済宗妙心寺派竹中玄鼎宗務総長が立って本会の昭和六十三年度税制改正に対する要請書を朗読して本会の立場を明確に表明した。

こうした意見の陳述は、文教部の両氏によって自民党の税制調査会の審議に反映されることになる。私たちは、両氏の御健闘を衷心より祈念した次第である。

- 当日の本会関係出席者(順不同・敬称略)
- 蔵山 光堂 曹洞宗教学部長
 - 井上 博厚 浄土真宗本願寺派財務担当総務
 - 惠美 龍川 真宗大谷派参務
 - 永井 祥文 日蓮宗
 - 北川 智城 高野山真言宗企画室長

……国宝などの保護対策…… 自民党へ要望書

全仏では、仏教文化財の保護を積極的に進めるため、昨年十二月九日、左記のような要望書を、若槻修造全仏理事長名で、自由民主党文教部会、文教制度調査会、文教局へ提出した。

国宝、重要文化財の保護の充実に
ついての要望書

全仏では、仏教文化財の保護を積極的に進めるため、昨年十二月九日、左記のような要望書を、若槻修造全仏理事長名で、自由民主党文教部会、文教制度調査会、文教局へ提出した。



あいさつされる自民党の工藤巖氏(右)と(左)が同奥田幹生氏

- 竹中 玄鼎 臨済宗妙心寺派宗務総長
- 長沢 徳純 天台宗東京出張所長
- 石川 良泰 真言宗智山派総務部長
- 野口 善雄 全仏事務総長
- 川島 宏之 全仏総務部長
- 石川 浩徳 全仏財務部長
- 齋藤 明聖 全仏社会部長
- 杜多 茂夫 全仏国際文化部長
- 野生司 祐宏 全仏総務部次長
- 瀬戸 隆海 全仏財務部次長
- 神代 紹文 全仏同和推進部次長
- 上田 則夫 全仏社会部次長
- 小峰 立丸 全仏国際文化部次長

措置を講ずることが困難となっており、このままでは文化財保護に問題を生ずるおそれがあります。

ついては、国においても文化財の保存管理事業の充実をめざし、次のような各項目について格別の財政措置を講ぜられるよう切に要望致します。

- 記
- 一、国宝、重要文化財の修理・管理・防災
 - 二、伝統的建造物群の整備
 - 三、文化財保存施設の整備
 - 四、伝統技術の保存・振興

宗教法人セミナー 雪模様の盛岡市で

昨年十二月三日午後一時より、岩手県仏教会主催の「宗教法人の税務問題研修会」明日のために今打つ手は何か(一)後援/全日本仏教会・山一證券株式会社)が、盛岡市の盛岡ターミナルホテルで開催された。当日はあいにくの雪模様であったが、県内各地から約七十名が出席した。

会長、石川浩徳全仏財務部長のあいさつに続いて、パネラーは、長谷川正浩全仏顧問弁護士、中村義英全仏税務委員、高木正博山一證券コンサルタント室部長、

石川全仏財務部長のいつものメンバーに、岩手県仏教会を代表して吉田光覚師が加わった。

内容は、○税務調査を受けたときの内容構えについて、○反面調査と檀信徒の拘わりについて、○支出科目の中の宗教法人負担と個人負担との区別について、○給与額の設定について、○収益事業の範囲の問題点について、○公益法人に対する今後の課税傾向について、○法人財産の有効的な運用法について、これらについて各パネラーが意見を述べあった。

この後、高木部長が「明日では遅すぎる今打つ手は何か」という題で講演をおこない、質疑応答をして午後四時半に閉会となった。

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

第33回全日本仏教徒(岐阜)大会

今秋九月十日「未来博」に協賛して

本年九月、岐阜県において、岐阜県仏教会と本会の共催による第三十三回全日本仏教徒(岐阜)大会が開催される。仏教徒大会は、一昨年徳島県において開催されて以来二年ぶりであるが、特に今大会は、「未来博88」(正式名称「ぎふ中部未来博覧会」)の協賛大会ということで注目を集めている。

スローガン「21世紀は心の時代」



大法輪のもとより大きくより強く

岐阜の長良川といえば、夏期の鵜飼いや花火で有名だが、その長良川畔の広大な土地には、現在「未来博88」の会場作りが進められている。本年七月八日から九月十八日までの七十日間、そこで人類の未来を描く大フェスティバルが催されるのである。科学の粋をこらしたパビリオンや数々のイベントが行われ、未来博の運営事務局では全国から百万人の人出を予想しているという。

この未来博と仏教徒大会がどう結びつくのだが、未来博の開催テーマには四つの柱がある。「二十一世紀は科学の時代」、「水と緑の郷土」、「世界の人々との国際交流」

前回、昭和四十三年の岐阜大会の盛況。二十年目の本年再び迎える。

「二十一世紀は心の時代」の四点。そのうち四番目の「二十一世紀は心の時代」、これを岐阜県仏教会で請け負ってくれなにかという依頼が未来博運営事務局から届いた。

その頃、岐阜県仏教会では、昭和六十三年に岐阜県で全日本仏教徒大会を開催してはどうかという話があがっていた。というのは、昭和四十三年に第十五回全日本仏教徒(岐阜)大会を開催しており、昭和六十三年がちょうど二十年目にあたるからである。

そこで、未来博開催テーマの一翼を担う役割を果たすという意味も含めて、第三十三回全日本仏教徒(岐阜)大会を開催するという事になったのである。

昭和四十三年の岐阜県における仏教徒大会は、総動員数二万三千人という大盛況であったが、この大会はいかなれば、「県下の檀信徒の組織化」ということが大きなテーマであったという。岐阜県下に十万世帯規模の檀信徒組織を作り、僧俗一体となった仏教会活動、布教運動をするという目標で大会にのぞみ、その結果結成された檀信徒会には十一万七千世帯が加入、目標は達成され、現在「仏教

ぎふ」という機関紙は十万部発行されている。

この檀信徒組織をとおして岐阜県仏教会は、例えば、数万の子供がそれぞれのお寺に集まってお経を習うという「お経を習いましょう運動」などの活動をおこなっているという。

岐阜県仏教会では、「未来博から「二十一世紀は心の時代」というテーマを私も仏教会に依頼されたわけですが、これはこの二十年間の活動が県の皆様に評価された結果であると自負しております」という。この岐阜県仏教会の活動の基礎をつくったのが、前回の大会だったのである。

加納岐阜県仏教会長は、今度の大会について「二十一世紀は科学の進歩とともに、心豊かに生きることを考えなくてはならないんだということ、二十一世紀は心の時代」であるということ、岐阜県並びに全国に広めていきたい。仏教によって、荒廃した心、この混迷した時代を打開することができないかということ、とその抱負を語る。

十万人のアンケートを実施

その具体的な試みとして、岐阜県仏教会では十万人のアンケート調査を計画している。

これについては、本会と内容を検討中であるが、高齢化社会を迎えての僧侶の役割といったことを予定。老人医療やホスピスの問題も含まれてくると考え

1万人規模の式典 3月にブロック会議

られる。これらについて岐阜県全域にアンケート調査を実施し、多くの人々の声を集め、そしてそれを集計して、五月にパネルディスカッションを行い、さらにそれを今度の仏教徒大会の基調課題にするというものである。

このホヌビス等の医療問題は本会でも大きな検討課題であり、この前の常務理事会（昭和62年11月開催）では、「切実な関心をもって対処していく」ということが確認されており、その意味でも好企画である。

さて、大会の日程であるが、九月十日がメインの仏教徒大会となる。この日、午前と午後に分け、午前中はどこか学校の講堂を使って三千人規模の仏教徒大会。そして午後には仏教徒大会の式典を岐阜の県民大会で開催する。これは、一万人規模で行い、海外からのゲストも予定しているという。

その他では、まだ企画の段階というところだが、前日の九日に、大垣市において仏教婦人大会、大会翌日の十一日に岐阜市民会館で幼児と母親大会を開催。これは両方とも千五百人から二千人の動員を予定。また八月の下旬には恵那市にお

て檀信徒大会、そこで前述のアンケートの集計をもとにしたパネルディスカッションを三千人規模で開催する予定。

規模的には、未来博とのかねあいもあり、総計二万三千人を集めた昭和四十三年の大会をはるかに上回る規模になるとみられている。

大会を迎えて

大会名誉会長・正眼寺住職

谷 耕月



谷 耕月師

動員については、本会も全加盟団体に呼びかける所存であるが、岐阜県仏教会では、「ひとりでも多くの方の御参加をいただきたいと思っています。未来博はもちろん、岐阜は長良川の鶴飼い、金華山、少し足をのばせば飛騨高山、下呂温泉などの観光名所がたくさんございます

から、観光もかねていらしてください幸いです」と多くの方の参加を呼びかけている。

本会としては、とりあえず、三月に岐阜市で開催予定のブロック会議で、近県の方々に大会参加をお願いする予定である。

昨年一月一日、NHKに於きまして「禅の世界」と題し、約四時間近くに亘って、我が正眼寺に於ける禅僧の生活及びヨーロッパ、アメリカの仏教、又他宗教との交流等が放映されました。私は最近ボルブドールの遺蹟や中国、成都より西藏の拉薩を訪れる等、海外の仏教事情の一端をも知る事を得たのでありますが、

今年には岐阜県に於きまして第三十三回全日本仏教徒会議が「二十一世紀は心の時代」をテーマとして開催せられる事となりました。今や日本の経済と相まって仏教もいよいよ国際化時代を迎えたようであります。この度の大会にはアジア各国より仏教代表をもお招きして、仏教の国際交流をも計り乍ら、より一層意義深いものと致したいのであります。尚、その頃は「ぎふ中部未来博」も開催中でありますので、関係各位には是非共ご参加賜りますよう、心よりお待ち申し上げます。

ごあいさつ

参議院議員・順勝寺住職

杉山 令肇



杉山令肇師

この度、第三十三回全日本仏教徒会議を岐阜県に於て開催せられる事となりました。ふりかえって見ますと、今より丁度二十年前、第十五回大会が岐阜の地に於て開催せられたのであります。前年の愛知大会を参考にしながら主会場である県民体育館に一万三千名を始め、大垣、高山等四会場に合計二万三千名が参加する

ふ中部未来博」も開催中にて「二十一世紀は心の時代」をテーマに県下四会場に於て実施する予定であり、又「十万人の心の時代アンケート」を集め、中広い層よりの声を背景としてこれを仏教徒会議の議題に加えた準備を致しております。

盛況でありました。この度の大会には「ぎ

岐阜県下二千三百余り寺の心をあわせ、栄叡大師、快川、円空上人等郷土の名僧の心を受け伝えながら、より一層有意義な大会となりますよう、関係各位のご指導、ご支援の程、お願い申し上げます。

年 新 賀 謹

曹洞宗宗務庁

管 長	梅田 信隆
宗務総長	植山 大典
参 議	田辺 哲崖
参 議	岡田 已成
人事部長	朝日 泰峯
教学部長	藏山 光堂
総務部長	来馬 規雄
教化部長	近藤 恒良
財政部長	横山 敏明
伝道部長	吉井 道樹
出版部長	東 雄鳳

東京都港区芝二一五一一
〒105 〇三(四五四)五四一一

浄土真宗本願寺派

門 主	大谷 光真
総 長	渡邊 静波
総 務	日谷 周暎
同	平 興誓
同	青地 敬水
同	瓜田 一貫
同	井上 博厚

京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺門前町
〒600 〇七五(三七二)五一八一

真宗大谷派

宗務総長	古賀 制二
参 務	本間 義博
同	惠美 龍川
同	山崎 順正
同	不破 仁
同	熊谷 宗恵

京都市下京区烏丸通七条上ル
常葉町七五四
〒600 〇七五(三七二)九一八一

社団法人
全日本仏教婦人連盟

理事長 山本 杉

事務局 一同

事務局
東京都豊島区北大塚二一一一
大塚プラザビル七F
〒170 〇三(九一〇)一二八九

念法真教教団
総本山金剛寺

燈 主 小倉 靈 現

大阪市鶴見区緑三二四一一二
〒538 〇六(九一)二二〇一

年 新 賀 謹

浄土宗宗務庁

浄土門主 藤井 實應

宗務総長 大田 秀三

総務局長 吉田 昭炳

教学局長 牧 達雄

財務局長 川井 匡俊

社会局長 福田 泰道

同和推進事務局局長 成田 有恒

東京事務所 山田 瑞祥

同和推進事務局参与 蓮池 瑞旭

東京事務所 松浦 行真

出版室長

〒605 〇七五(五二五)二二〇〇

〒105 〇三(四三六)三三五一

(東京事務所)
京都府東山区林下町四〇〇
東京都港区芝公園四一七一四

日蓮宗宗務院

〒146 〇三(七五二)七八一
東京都大田区池上二二三二一五

総本山金剛峯寺 高野山真言宗事務所

座主 阿部野 竜正

執行総長 近藤 説巖

総務部長 行 寿山 良知

執行部長 行 佐伯 仁経

財務部長 行 民岡 哲雄

執行部長 行 山口 耕栄

執行部長 行 豊田 高詔

同和局長 近藤 覚玄

企画室長 北川 智城

和歌山県伊都郡高野山一三三二
〒648-02 〇七三(五六)二〇一一

(高野山東京別院)
主 監 橋爪 良恒

主 監 柴田 弘仁
弘法大師奉賛会
事務所局長
〒108 〇三(四四一)三三三八
東京都港区高輪三二一五一八

孝道教団

統理 岡野 正貫

副統理 岡野 鄰子

〒221 〇四五(四三二)二二〇一
横浜市神奈川区鳥越三八

真言宗善通寺派宗務庁 総本山善通寺

管長 蓮生 善隆

宗務総長 執行長 阿部 本宣

総務 山地 善真

香川県善通寺市善通寺町
三三三一
〒765 〇八七七(六二)〇一一一

謹 賀 新 年

臨濟宗妙心寺派
宗務本所

管 長 倉 内 松 堂

宗務總長 竹 中 玄 鼎

總務部長 橫 山 尚 空

教學部長 中 島 義 観

財務部長 瑞 岩 宗 園

花園會 馬 場 義 光

法務部長 古 田 宗 忠

〒615 京都市右京区花園妙心寺町
〇七五(四六三)三二二

天台宗務庁

宗務總長 江 田 廣 典

參 務 部 長 高 松 義 寛

參 務 部 長 水 尾 真 寂

參 務 部 長 北 角 円 澄

參 務 部 長 熊 谷 亮 澄

總務室長 市 原 孝 寿

〒520-01 大津市坂本本町一七七一―一
〇七七五(七九)〇〇三二

總本山仁和寺
真言宗御室派宗務所

管 門 長 跡 小 林 隆 仁

執 行 部 長 吉 田 裕 信

總 務 部 長 鈴 木 快 幢

執 行 部 長 森 尾 教 禪

執 行 部 長 藤 橋 泰 信

華 務 長 手 嶋 千 俊

〒616 京都市右京区御室大内三三
〇七五(四六一)一一五五

臨濟宗建長寺派

管 長 吉 田 正 道

鎌倉市山之内八
〒247 〇四六七(三二)〇九八一

天台真盛宗
總本山西教寺

貫 管 首 長 色 井 秀 讓

大津市坂本本町三二一〇
〒520-01 〇七七五(七八)〇〇三三

臨濟宗東福寺派

宗務總長 岡 平 篤 道

京都市東山区本町一五
〒605 〇七五(五三)五二〇七
東福寺派宗務本所

年 新 賀 謹

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

管 主 長 藤 井 龍 心

宗務総長 高野 一 能

執 務 部 長 石 川 良 泰

執 教 学 部 長 小 峰 一 允

執 教 化 部 長 上 野 照 法

執 法 務 部 長 大 森 龍 澄

執 財 務 部 長 岡 本 實 良

出 張 所 長 花 木 義 光
別 院 執 事

京都市東区東山七条下ル
東瓦町九六四
〒685 〇七五(五四)五三六一・二
七八九七

真言宗豊山派宗務所

管 長 勝 又 俊 教

宗務総長 吉田 俊 誉

總務部長 川 田 聖 定

教化部長 高 梨 宥 興

教務部長 栗 山 明 憲

財務部長 杉 本 亮 一

宗務総合庁舎建設委員会
事務局長 服 部 賢 昌

事務局次長 鈴 木 道 雄

東京都文京区大塚五一四〇一八
〒112 〇三(九四五)〇六三九

信 貴 山 真 言 宗

総本山信貴山朝護孫子寺

管 長 鈴 木 風 永

前 管 長 野 澤 密 巖

宗 務 長 田 中 真 瑞

奈良県生駒郡平群町信貴山
二二八〇一一
〒636 〇七四五(七二)二二七七

浄 土 宗
西山深草派宗務所

總 本 山 誓 願 寺 法 主 櫻 間 観 刹

宗務総長 鶴 飼 慶 範

宗務所職員 一 同

京都市中京区新京極桜之町
四五三
〒604 〇七四(二二)〇九五八

財団法人

国際仏教興隆協会

名譽総裁 阿 部 野 竜 正

印 度 山 日 本 寺 竺 主 葉 上 照 澄

役 員 一 同

東京都目黒区中目黒五―二四―
五三 祐天寺内
〒153 〇三(七一)七六〇八

年 新 賀 謹

財団法人
仏教伝道協会

発願者 沼田 惠 範
会 長 沼田 智 秀
理事 長 葉 上 照 澄
理 事 中 村 元
同 雲 藤 義 道
同 松 原 泰 道
同 有 馬 清 雄
監 事 芝 田 徹 男

東京都港区芝四一三一—一四
〒108 ○三三(四五五)五八五一

顕本法華宗

管 長 吉 田 日 康
宗務 總 長 河 野 時 中
宗務 次 長 山 田 信 正
財務 部 長 飯 澤 道 宣
布教 部 長 浜 田 顕 昭
教 学 部 長 平 田 淨 応
社 会 部 長 因 幡 信 篤
庶務 部 長 朝 倉 俊 幸
宗 務 院 一 同

京都市左京区岩倉幡枝町九一
妙満寺
〒606 ○七五(七九一)七一七一

黄檗宗大本山萬福寺

管 長 奥 田 行 朗
宗務 總 長 永 田 泰 嶺
財務 部 長 川 口 龍 昭
庶務 部 長 佐 々 木 静 雄
教 学 部 長 近 藤 博 道

宗治市五ヶ庄三番割三四
〒611 ○七七四(三三)三九〇〇

真言宗須磨寺派
大本山須磨寺

管 長 小 池 義 人

神戸切須磨区須磨寺町四六六八
〒654 ○七八(七三二)〇四一六

財団法人
世界平和同願会
中観山同願院昭和寺

奉賛 会 長 梅 村 清 明
中京 大 学 総 長
理 事 長 山 崎 良 順
住 職
副 理 事 長 三 谷 深
事 務 總 長

長野県諏訪市霧ヶ峰強清水
一三三三三八—二七
〒392 ○二六六(五三)四四五五

年 新 賀 謹

岐阜県仏教会

名誉会長 谷 耕 月
 顧問 杉 山 令 肇
 参議院議員
 全日仏理事 橋 感 月
 会 長 加 納 博 司
 副会長 三 塚 大 法
 同 瀧 俊 美
 同 野 村 正 之
 理事 長 竹 市 周
 岐阜市 寺 町 研 山
 仏教会 長
 事務局 長 松 波 高 義
 岐阜市西野町三十一
 本願寺岐阜別院内
 〒500 〇五八二(六六)七八〇三

神奈川県仏教会

会 長 福 永 隆 昭
 副会長 小 崎 竜 雄
 同 横 山 敏 明
 同 柳 下 隆 侃
 同 大 井 重 忠
 事務局 長 本 間 孝 康
 横浜市中区大平町九六
 西有寺内
 〒231 〇四五(六六一)〇一六六

東京都仏教連合会

会 長 大 谷 昌 之
 理事 長 岩 崎 宗 秀
 事務局 長 白 川 謙 敬
 東京都世田谷区松原五四三三〇
 正法寺内
 〒156 〇三三(三三二)〇二〇五

財団法人 埼玉県佛教会

会 長 山 本 道 隆
 副会長 江 連 俊 則
 同 河 野 亮 永
 専務理事 酒 井 文 雄
 浦和市高砂四一三一一八
 瑞佛会館
 〒336 〇四八八(六一)二一三八

大本山成田山新勝寺

貫 首 鶴 見 照 碩
 千葉県成田市成田一
 〒286 〇四七六(二二)二二一一

真言宗大覚寺派 大本山大覚寺

京都市右京区嵯峨大沢町四
 〒616 〇七五(八七一)〇〇七一

大本山 中 山 寺

真言宗中山寺派
 兵庫県宝塚市中山寺二一十一一
 〒665 〇七七(八六)六五一七
 (八四)五六二二

謹 賀 新 年

新潟県仏教会

会 長 中村啓識

〒940 長岡市上田町 徳聖寺内
〇二五八(三三)一五八六

兵庫県仏教会

会 長 小西日静
副会 長 大谷昭世
同 井上紀生
事務局 長 円成淳龍
総 務 小西徹龍

〒652 神戸市兵庫区松本通三十一四〇
法華寺内
〇七八(五二)一六六八

京都佛教会

会 長 東伏見慈治
常務理事 有馬頼底
同 大島亮準
同 清瀧智弘

〒602 京都市上京区丸太町通千本東入
ブラザービル二階
〇七五(八〇)二五三七
FAX 〇七五(八〇)二五三八

愛知県仏教会

会 長 宇佐美諦練
副会 長 瀬辺淳信
同 江川辰三
同 亀山黙道

〒461 名古屋市中区東桜
二一六一五一梅屋寺内
〇五二(九三)八二二四

愛媛県佛教会

会 長 宇都宮万哲
副会 長 山岡隆
同 豊田隆淳
事務局 長 水崎章元
役員 一同

〒790 松山市石手二一九一二
地藏院内
〇八九九(七七)〇七六六

沖縄県仏教会

会 長 藤井深忍
副会 長 片岡禅教
会 計 遠藤修雄
書 記 仲尾次俊賢

〒902 沖縄県那覇市安里三八
神徳寺内
〇九八八(六七)五八九四

妙見宗

管 長 野間秀昭

〒563-01 大阪府豊能郡能勢町野間中七一八
〇七二七(二七)〇〇二八

新義真言宗

管 長 関尚道

〒112 東京都文京区湯島四一六一二
湯島ハイタウンB一〇二一
〇三(八一四)三四六四

真理舎

主 管 友松諦道

〒101 東京都千代田区外神田三十四一〇
神田寺内
〇三(二五一)八六八三
八八四二

財団法人 日本佛教鑽仰会

理 事 長 中山静麿

〒107 東京都港区赤坂二一八一一五一
四〇三
〇三(五八四)九三二〇

年 新 賀 謹

日蓮宗総本山
身延山久遠寺

法 主 岩間 日勇

總 務 望月 一靖

参 与 加賀美 日聰

同 伊藤 勝淳

同 堀内 光雄

他山務員一同

山梨県身延町身延三五六七
〒409-25 ○五五六六(二)一〇二一

真言宗智山派
大本山川崎大師平間寺

貫 首 高橋 隆天

院 代 茂木 隆応

總 務 馬本 克美

執 綱 原 隆愿

執 事 野澤 隆幸

常 務 小林 俊一

川崎市川崎区大師町四一四八
〒210 ○四四二(二六)三四二〇

大雄山最乗寺

山 主 余語 翠巖

紀 綱 阿部 顕瑞

副 寺 豊島 健生

神奈川県南足柄市大雄町
〒250-01 ○四六五(七四)三二二一

浄土宗総本山
知恩院

門 主 藤井 實應

執事長 寺本 哲榮

内局 一同

京都市東山区林下町四〇〇
〒605 ○七五(五三)二二二一

大本山 護國寺

貫 首 小林 良弘

東京都文京区大塚五一四〇一
〒112 ○三(八四一)〇七六四
〇七六五

年 新 賀 謹

曹洞宗大本山永平寺

貫 首 丹羽廉芳

副貫 首 宮崎奕保

西 堂 大久保道舟

監 院 上月照宗

外役寮 一同

福井県吉田郡永平寺町志比
〒910-12 ○七七六(六三)
三二〇二・三

真言宗豊山派
総本山長谷寺

化 主 勝又俊教

事務長 水谷賢照

法務執事 寺沢栄章

教務執事 佐藤智仙

財務執事 岩田秀孝

総務執事 蓮 俊孝

東京出張所 長 吉野孟彦

奈良県桜井市初瀬七三一―一
〒633-01 ○七四四(七七〇〇)―

西新井大師

總持寺

東京都足立区西新井 一―一五―一
〒123 ○三(八九〇)二三四五

聖観音宗

金龍山 浅草寺

代表役員 大森亮雅

東京都台東区浅草二―三―一
〒111 ○三(八四二)〇一八一

大本山 高尾山薬王院

貫 首 山本秀順

東京都八王子市高尾町二―七―七
〒193 ○四二六(六一)一一一五

築地本願寺

輪番 東京出張所長 大内察爾

東京都中央区築地三―十五―一
〒104 ○三(五四一)一一三二

日光山輪王寺

門 跡 柴田昌源

執事長 石塚慈优

栃木県日光市内一三三〇〇
〒321-14 ○二八八(五四)〇五三二

一九八七年初冬の一日、長野県A市を訪れた。列車を降り、予約しておいたレンタカーでS寺に向かう。

数日前に、A市の寺院住職から曹洞宗人権擁護推進本部に電話連絡があり、その寺院の檀徒で部落解放運動に取り組んでいる人から、「差別戒名」墓石の改正について相談があったが、どう話を進めたらよいかという問い合わせだった。二年ほど前に調査したS寺の

「差別戒名」に関する寺院調査」のフアイルを手元に置き、

それに基づき、曹洞宗の基本的姿勢や改正のための具体的方法、その手続きなどを説明する。手続きとしては、まず最初に、早急に檀徒の方たちと話し合いが

きるような場を作ること、その折には宗務庁からも出席したい旨を伝える。そして、今日の第一回目の会合を迎えたのである。

A市は数年前より「差別戒名」に関する対策委員会を組織し、市内全域で「差別戒名」の実態調査を行い、差別事象の解消についての具体的方策を研究し、協議を積み重ねて来ている。委員会は寺院、運動団体、学識経験者、行政などから構成され、このメンバー

の中には、S寺住職も、この件で最初に住職のところに相談にきた世話人のT氏も加わっていた。

委員会の「地元の意志を尊重し改正する」という一応の結論は、今年の夏頃出されたと聞いているが、それを受けて当該地区内で話し合いが持たれたものと思われる。

会合の始まる時間より一時間ほど早目にS寺に到着すると、挨拶もそこそ

同和推進のために

「差別戒名」墓石改正へ向けて

こに住職と打ち合わせをする。どうも、檀徒の方たちは「差別戒名」墓石を、「埋めて」しまいたい意向らしいとのことであった。

約束の時間近くになって、檀徒の方たちやA市の同和对策課の係員が到着した。

住職の挨拶、出席者全員の自己紹介の後、まず地区の世話人T氏に、これまでの経過を説明していただく。その内容は、我々がすでに承知していたA

市の取り組み経過と、それ以降の地域での話し合いの結果であった。そして、「埋める」工事の図面、その諸費用の見積りなどが手際よくテーブルの上に並べられ、ついでに、曹洞宗からは改正費用をどの程度出せるのかということだった。

それに回答する形で、曹洞宗側からは、まず教団として「差別戒名」など部落差別に荷担してきたことに対し心

柿木 祖元 (曹洞宗人権擁護推進本部)

からの謝罪をする。続いて宗門の取り組み報告、「差別戒名」改正に関する基本的考え方、S寺の場合における具体的改正案を提示した。「差別の再生産を防止するために○家の墓地から当該墓石を搬出し、埋めずに寺院墓地あるいは境内の適当な場所に無縁塔形式で合祀する。差別の完全解消の日までお見守りいただくよう、住職はじめ地域をあげて供養していく」という案である。T氏から、地元の総意で「埋める」と

決めた、今更これを変更できないと反論が出た。心情的には理解できるが、それは各地の交渉の席でよく聞く常套句で、最初の難関だ。

もし、畑を耕している時などに鍬が石に当たり、掘り起してみたら墓石だったのというような場合、ここでは、前より深く穴を掘って埋めてしまうのかと尋ねると、そういう場合は、寺などに運び無縁塔に合祀するなどして懇ろに供養するという。では、土石の無縁墓でさえきちんと供養するのは、何故「差別戒名」墓石だけは埋めるのかと問いかける。

「埋める」とか建造物の中に収納・安置するとかいう方法は、一見「差別戒名」が目につけなくなるため、「差別がなくなる」と誤解しやすいが、そのような処置方法は、地域社会の差別意識の解消のためには何等意味を持たないばかりか、「埋めた」ところや建造物の崩壊や老朽化の折には、将来再び改正し直さなければならぬおそれがあり、何よりも「普通には行われぬ」とある意味では「後味の悪い」、かえって「特別視」されかねない処置ではないのかと再考をお願いする。T氏はじめ参会者の多くが同意して、大きくうなづいている。もう一度、地区住民間で話し合いを持ち、その後再び協議をしようという約束をし、一回目の会合を終えた。

表紙の写真について

表紙の写真は、世界でも指おりの写真家白川義員氏の、作品集『仏教伝来』（全三巻・学習研究社刊）から借用いたしました。

カラーでお伝えできないのが残念です。朝もやのルンビニー園に、朝日が橙色の光を放射する様は幻想的な美しさです。

『仏教伝来』は、インド、ネパール、パキスタン、中国、韓国、スリランカ、ビルマ、タイ、インドネシア、そして日本と、仏教国全域を網羅して仏教伝来の源流を写真で綴った、白川市入魂の作品集（写真集でなく作品集）です。

うまく表現できませんが、大自然の背後にある高次元の精神と、白川氏の精神が感応したような、一点のゆるぎもない

三三三 事務局録事

(12月)

- 一日 常務理事会
- 二日 岐阜県仏教会来訪
同宗連第二回部落解放基礎講座出席
- 三日 宗教法人セミナー（岩手）
- 六日 念法真教支院入仏落慶法要出席（萩）
- 七日 日宗連と自由民主党文教関係議員との懇談会出席
記念誌編集委員会
- 八日 東京都仏教連合会成道会出席
岐阜大会打合せ
- 九日 世界人権宣言三十九周年東京集会出席
- 十日 税務委員会
ブアイストクラブ成道会出席
ネパール外相に謁見
法律相談
- 十一日 局内会議
- 十四日 記念誌編集委員会
- 十五日、十六日 金子日威日蓮宗管長密葬儀参列
- 十六日 岐阜県仏教会訪問
- 二十一日 日宗連理事会出席
局内会議
- 二十四日 ネパール国王誕生パーティー出席

哀悼

写真は、宗教的ですからあります。ワンシヨットにかけられた作者のエネルギー量を想像すると震撼とさせられます。まさに芸術。写真集と呼ばず作品集であるという作者の自負がうなずけます。一卷三万八千円は、けっして安くはありませんが、それだけの価値のある本だと思います。おすすめします。

金子日威師（元全仏会長）

昨年十二月十日、八十歳で遷化。日蓮宗第四十五代管長、大本山池上本門寺第八十世貫首。

昭和六十三年一月一日発行
一月号 第三三五号

発行人 野口善雄 発行所 財団法人 全日本仏教会

〒一〇五 東京都港区芝公園四一七一四
電話〇三（四三七）九二七五



株式情報生中継
わが家で証券取引

山一の「サンライン」は、ご家庭のパソコンでリアルタイムの証券情報を見ながらその場で売買注文もできる画期的なサービスシステムです。

- リアルタイム株価などの証券情報が得られます。
- 株価チャートをご覧いただけます。
- ご家庭で株式の売買注文ができます。

ご利用時間 朝 7:00 ~ 翌朝 1:00
(日曜・祝祭日および第2・3土曜日はご利用になれません。)

※平日8:00-18:00 ※土曜(第2・3を除く)8:00-14:00

「サンライン」専用お問合わせ電話(通話料金無料)
☎(局番なし)0120-001234

お近くの山一證券でもお問合わせ・お申込みを承ります。お気軽にご相談ください。

パソコンでリアルタイムの証券情報や売買注文を。

サンライン

SUN-LINE

山一證券

〒104 東京都中央区八重洲2の1
☎(03)276-3181(代表)